

青森県経済統計報告

平成18年4月4日
企画政策部統計分析課

1 青森県の推計人口（平成18年3月1日現在）…………… 1

県人口	1,432,666人（対前月 996人 減少）
自然動態	470人減少（出生者数 754人、死亡者数 1,224人）
社会動態	526人減少（転入者数 1,217人、転出者数 1,743人）

2 本県の経済動向

（1）経済概況

本県経済は、生産面をはじめとして引き続き改善の動きがみられるものの、全体としては、なお足踏み状態が続いている。

（2）主要経済指標の動向

- (2-1) 製造業の 平成18年1月の青森県鉱工業生産指数(平成12年=100)は、季節調整 …… 2
生産動向 済指数が94.0で、前月比4.3%の上昇となり、3ヶ月ぶりに前月を上
回った。また、原指数は81.8で、前年同月比2.0%の上昇となり、6ヶ
月連続で前年同月を上回った。
- (2-2) 雇用情勢 平成18年1月の定期給与は230,155円で前年同月比1.9%減となった。 …… 3
総実労働時間は150.5時間で前年同月比1.3%増、所定外労働時間は8.5
時間で前年同月比9.6%減となった。
平成18年2月の有効求人倍率(季節調整値)は0.48倍で、前月より0.01
ポイント改善した。
- (2-3) 物価 平成18年2月の青森市消費者物価指数は、102.6となり、前月と比べ0.7% …… 4
の下落、前年同月と比べ0.4%の上昇となった。
- (2-4) 個人消費 平成18年1月の大型小売店販売額は174億5千2百万円で、全店舗ペー …… 5
スが前年同月比0.5%減、既存店ベースが2.5%減でいずれも2ヶ月連続
で前年を下回った。
平成18年2月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,874台
で、前年同月比3.1%の増となり2ヶ月連続で前年を上回った。
- (2-5) 住宅建設 平成18年2月の新設住宅着工戸数は262戸で、前年同月比2.6%減とな …… 6
り、3ヶ月連続で前年を下回った。
- (2-6) 企業倒産 平成18年2月の企業倒産件数は6件で、前年同月比3件(33.3%)減とな …… 6
り、2ヶ月連続で前年を下回った。

（3）景気動向指数（平成18年1月分）…………… 7

先行指数	55.6%（2か月連続で50%を上回った）
一致指数	77.8%（2か月ぶりに50%を上回った）
遅行指数	83.3%（5か月ぶりに50%を上回った）

1 青森県の推計人口（平成18年3月1日現在）

【概況】

平成18年3月1日現在の本県推計人口は、1,432,666人で、前月に比べ996人の減少となった。

○自然動態

出生者数が754人、死亡者数が1,224人で、470人の減少となった。

○社会動態

転入者数が1,217人、転出者数が1,743人で、526人の減少となった。

総人口の推移

(単位:人)

	総数	性別		対前月増減率	増減数	自然増減数	自然増減数		社会増減数	社会増減数	
		男	女				出生者数	死亡者数		県外からの転入者数	県外への転出者数
昭45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	-
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	-
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	-
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	-
平2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
17.3.1	1,448,216	686,552	761,664	-0.050%	-729	-339	849	1,188	-390	1,233	1,623
17.4.1	1,441,447	682,719	758,728	-0.467%	-6,769	-668	854	1,522	-6,101	4,133	10,234
17.5.1	1,441,973	683,207	758,766	0.036%	526	-476	818	1,294	1,002	4,425	3,423
17.6.1	1,441,389	682,825	758,564	-0.041%	-584	-301	956	1,257	-283	1,693	1,976
17.7.1	1,440,721	682,329	758,392	-0.046%	-668	-320	831	1,151	-348	1,434	1,782
17.8.1	1,440,005	681,879	758,126	-0.050%	-716	-227	844	1,071	-489	1,906	2,395
17.9.1	1,440,226	681,995	758,231	0.015%	221	-258	1,007	1,265	479	2,513	2,034
17.10.1	1,436,628	678,989	757,639	-	-542	-149	942	1,091	-393	1,738	2,131
17.11.1	1,436,285	678,775	757,510	-0.024%	-343	-259	931	1,190	-84	1,777	1,861
17.12.1	1,435,625	678,406	757,219	-0.046%	-660	-366	863	1,229	-294	1,323	1,617
18.1.1	1,434,907	678,029	756,878	-0.050%	-718	-418	790	1,208	-300	1,184	1,484
18.2.1	1,433,662	677,352	756,310	-0.087%	-1,245	-685	851	1,536	-560	1,119	1,679
18.3.1	1,432,666	676,827	755,839	-0.069%	-996	-470	754	1,224	-526	1,217	1,743

2月中の人口動態の推移

(単位:人)

年月		平9.2	10.2	11.2	12.2	13.2	14.2	15.2	16.2	17.2	18.2
自然動態	出生者数	996	1,010	949	980	963	915	904	912	849	754
	死亡者数	986	1,101	1,248	1,205	1,037	1,061	1,270	1,208	1,188	1,224
	自然増減数	10	-91	-299	-225	-74	-146	-366	-296	-339	-470
社会動態	県外からの転入者数	1,561	1,576	1,493	1,455	1,390	1,450	1,374	1,252	1,233	1,217
	県外への転出者数	1,784	1,656	1,488	1,630	1,807	1,951	1,876	1,694	1,623	1,743
	社会増減数	-223	-80	5	-175	-417	-501	-502	-442	-390	-526

※1 平成2、7、12年は国勢調査人口(確定値)。

※2 平成17年3月1日から平成17年9月1日までの人口は平成12年国勢調査人口(確定値)を基礎に、平成17年11月以降の人口は平成17年国勢調査人口(要計表による人口)を基礎に推計している。

※3 平成17年10月1日現在の人口は、平成17年国勢調査人口(要計表による人口)を用いているため、9月1日現在推計人口に9月中の増減数を加えた数値とは一致しない。

※4 増減数は、平成2、7、12年が前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

※5 算出方法

県の推計人口=前月の人口+自然増減数(出生者数-死亡者数)+社会増減数(県外からの転入者数-県外への転出者数)

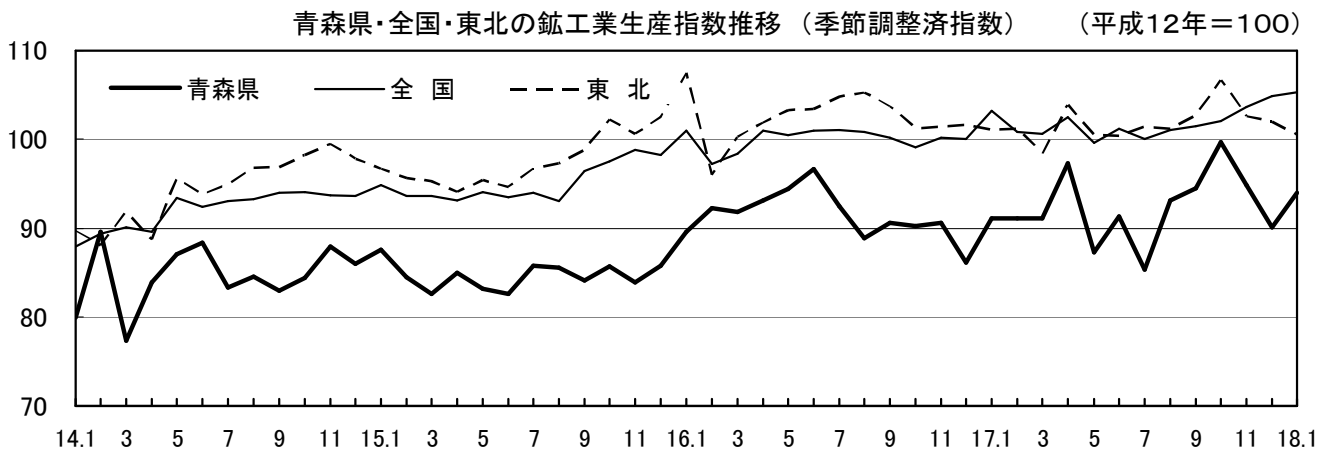
2 本県の経済動向

(2) 主要経済指標の動向

(2-1) 製造業の生産

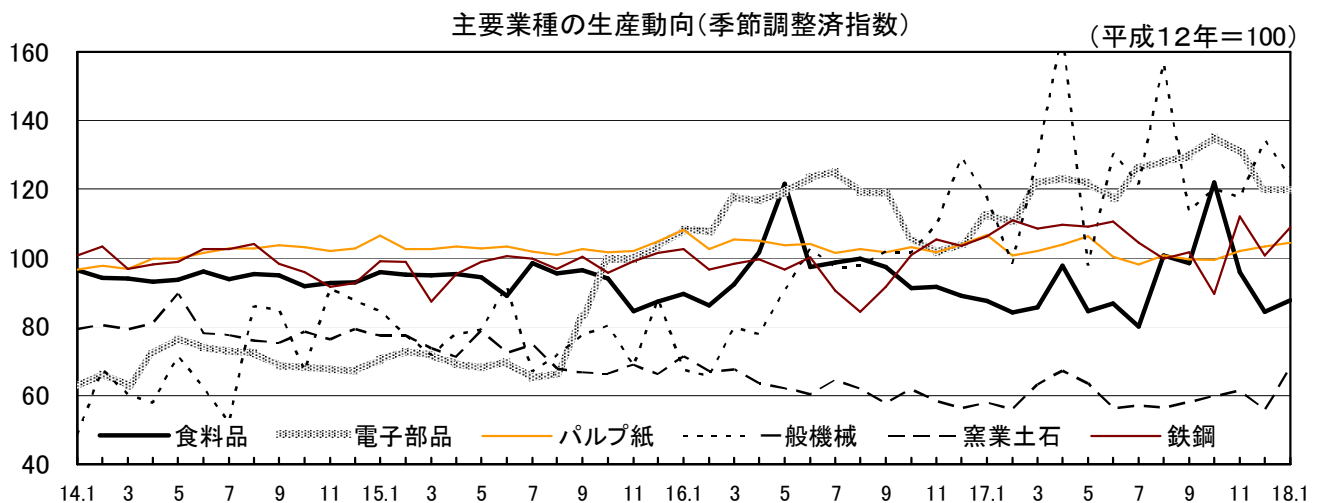
平成18年1月の青森県鉱工業生産指数(平成12年=100)は、季節調整済指数が94.0で、前月比4.3%の上昇となり、3ヶ月ぶりに前月を上回った。また、原指数は81.8で、前年同月比2.0%の上昇となり、6ヶ月連続で前年同月を上回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、化学工業、食料品工業、窯業・土石製品工業などが上昇に寄与した一方、金属製品工業、一般機械工業、石油・石炭製品工業などが低下し、鉱工業全体では4.3%の上昇となった。



◎業種別動向(前月比) 鉱工業全体 +4.3%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
化学工業	135.7	65.8	金属製品工業	-37.4	-64.9
食料品工業	4.0	20.1	一般機械工業	-12.8	-34.2
窯業・土石製品工業	22.5	16.5	石油・石炭製品工業	-93.4	-10.7
電気機械工業	11.5	16.2	木材・木製品工業	-15.3	-7.3
精密機械工業	17.2	11.6	電子部品・デバイス工業	-1.5	-7.1



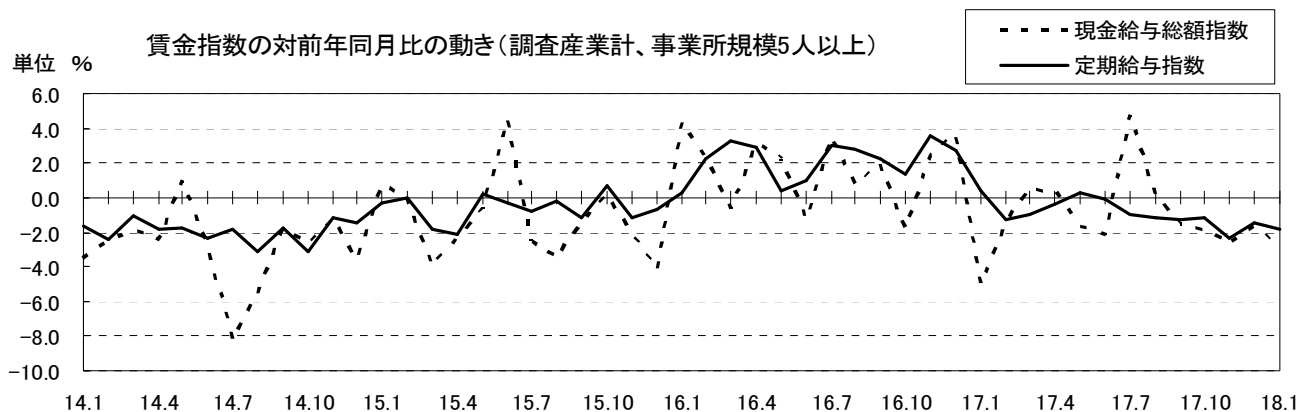
資料: 県統計分析課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

(2-2) 雇用情勢

平成18年1月の定期給与は230,155円で定期給与指数(平成12年=100)では97.0となり、前年同月比1.9%減(現金給与総額238,802円、現金給与総額指数82.8、前年同月比2.9%減)となった。実額で比較した定期給与の全国対比は85.4となった。

所定外労働時間は8.5時間で、所定外労働時間指数では98.8となり、前年同月比9.6%減となった。

平成18年2月の有効求人倍率(季節調整値)は0.48倍で、前月より0.01ポイント改善した。



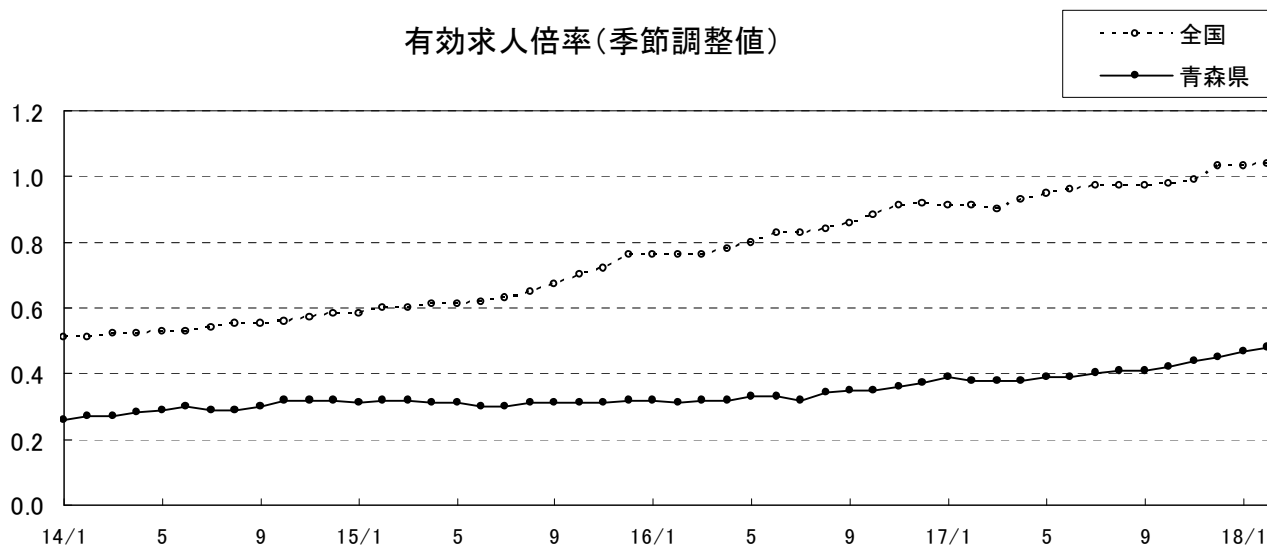
賃金及び労働時間の動き(調査産業計、事業所規模5人以上)

	実数		指数(H12=100)		対前年同月増減率	
	県	全国	県	全国	県	全国
現金給与総額	238,802 円	284,209 円	82.8	80.4	-2.9 %	-0.1 %
定期給与	230,155 円	269,586 円	97.0	95.6	-1.9 %	-0.1 %
特別給与	8,647 円	14,623 円	—	—	—	—
総実労働時間	150.5 時間	139.8 時間	95.0	90.8	1.3 %	-0.4 %
所定内労働時間	142.0 時間	129.5 時間	94.7	89.9	2.0 %	-0.6 %
所定外労働時間	8.5 時間	10.3 時間	98.8	105.1	-9.6 %	1.9 %

(注)1.定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。

2.前年同月比は指数によって算出している。

資料：県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」



資料：青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」

(2-3) 物価

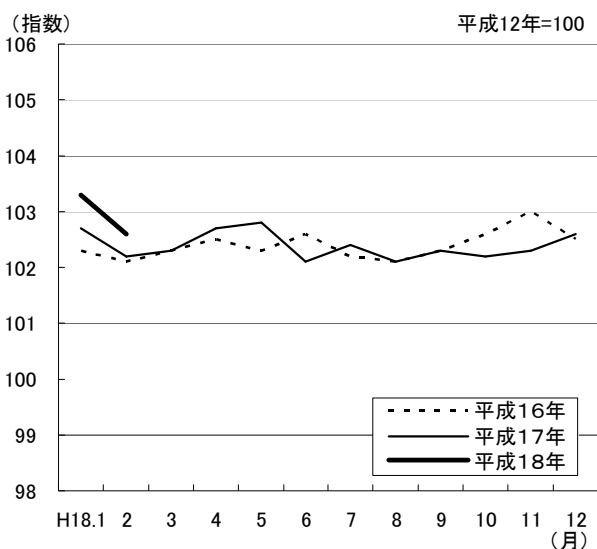
平成18年2月の青森市消費者物価指数（平成12年=100）は、総合指数が102.6となり、前月と比べ0.7%の下落、前年同月と比べ0.4%の上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は102.5となり、前月と比べ0.5%の下落、前年同月と比べ0.5%の上昇となった。

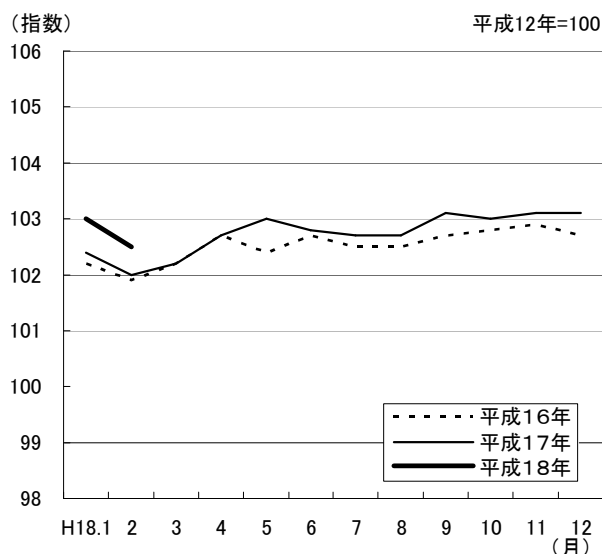
総合指数の前月比が0.7%の下落となった内訳を寄与度でみると、食料、被服及び履き物などの下落が要因となっている。

総合指数の前年同月比が0.4%の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道などの上昇が要因となっている。

総合指数の動き



生鮮食品を除く総合指数の動き



10大費目指数の動き

(平成12年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	持家の 帰属家賃を除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・水道	家具・ 家事用品	被服 及び履き物	保健 医療	交通・ 通信	教育	娯楽	雑費
当月指数	102.6	102.5	98.0	98.9	104.4	123.1	113.9	76.4	80.7	104.5	96.3	110.9	87.1	99.7
前月比 (%)	▲ 0.7	▲ 0.5	▲ 0.7	▲ 0.9	▲ 3.5	▲ 0.2	0.6	▲ 1.0	▲ 4.8	0.0	▲ 0.4	0.0	▲ 1.1	0.0
寄与度	▲ 0.70	▲ 0.46	▲ 0.58	▲ 0.25	▲ 0.20	▲ 0.05	0.06	▲ 0.03	▲ 0.25	0.00	▲ 0.04	0.00	▲ 0.09	0.00
前年 同月比 (%)	0.4	0.5	0.6	▲ 1.3	▲ 0.6	0.1	11.9	▲ 4.1	▲ 3.0	0.0	0.9	1.8	▲ 1.5	0.5
寄与度	0.40	0.46	0.50	▲ 0.36	▲ 0.03	0.02	0.99	▲ 0.12	▲ 0.15	0.00	0.10	0.07	▲ 0.12	0.02

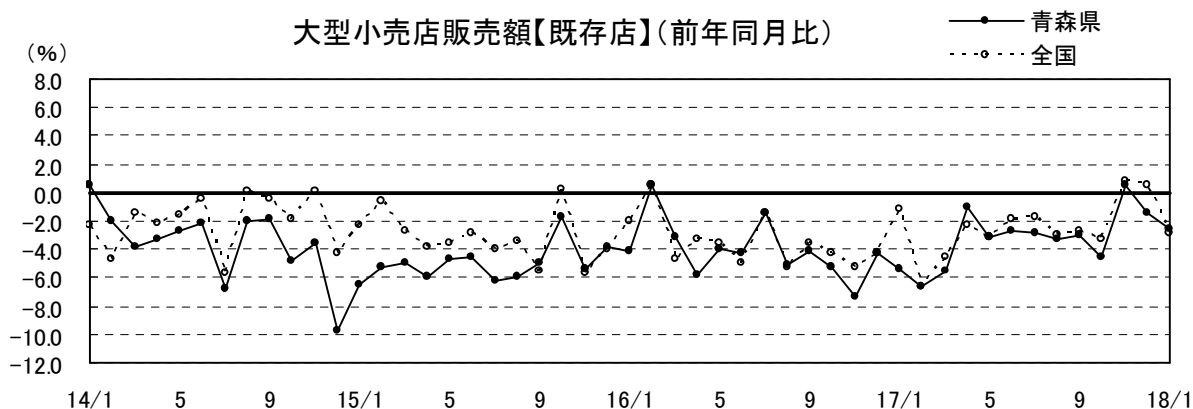
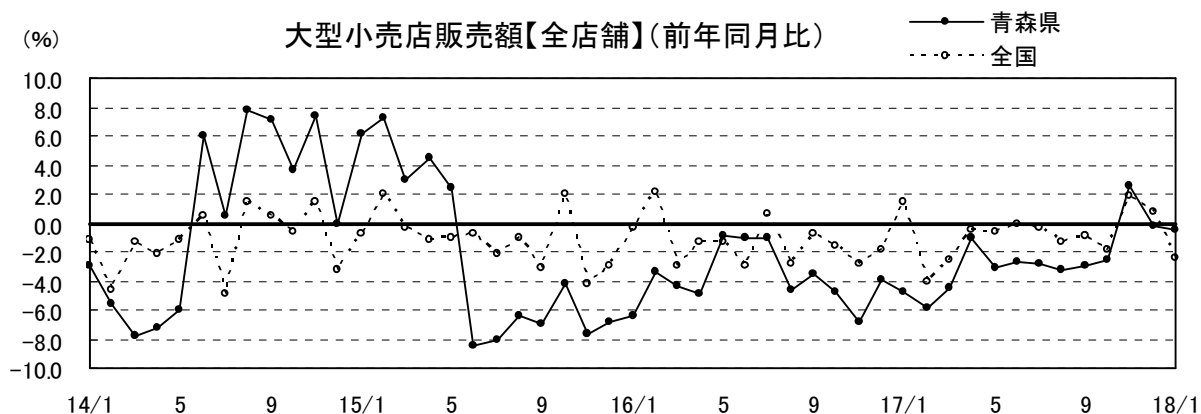
資料：県統計分析課「消費者物価指数月報」（速報）

※ 寄与度とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、総合指数の変化率に一致する。

(2-4) 個人消費

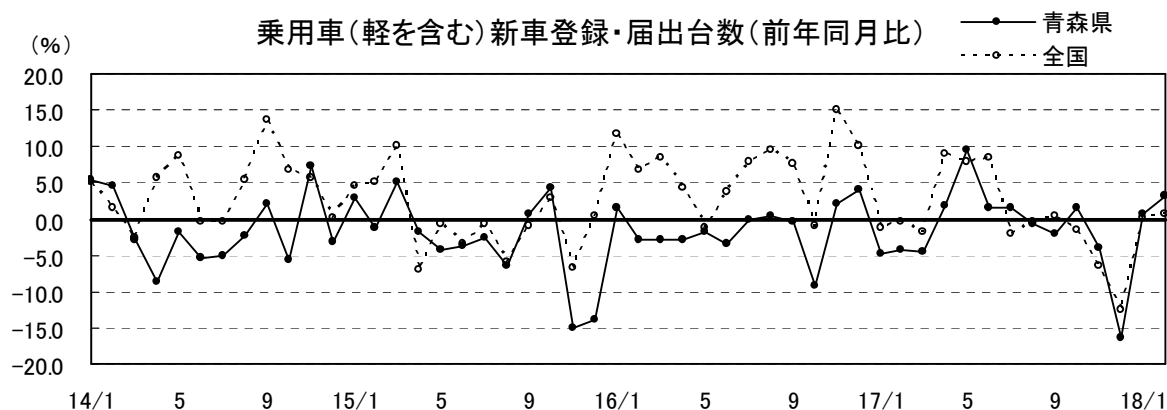
平成18年1月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが174億5千2百万円で前年同月比0.5%減、既存店ベースが2.5%減でいずれも2ヶ月連続で減少となった。百貨店は初売り等が好調で3ヶ月連続で前年を上回ったが、スーパーは大雪の影響で来店客数が減少し、前年を下回った。

平成18年2月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,874台で、前年同月比3.1%増となり2ヶ月連続で前年を上回った。小型車が2ヶ月ぶりにマイナスだったものの、普通車が9ヶ月ぶり、軽自動車が3ヶ月ぶりにプラスに転じたことによる。



資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

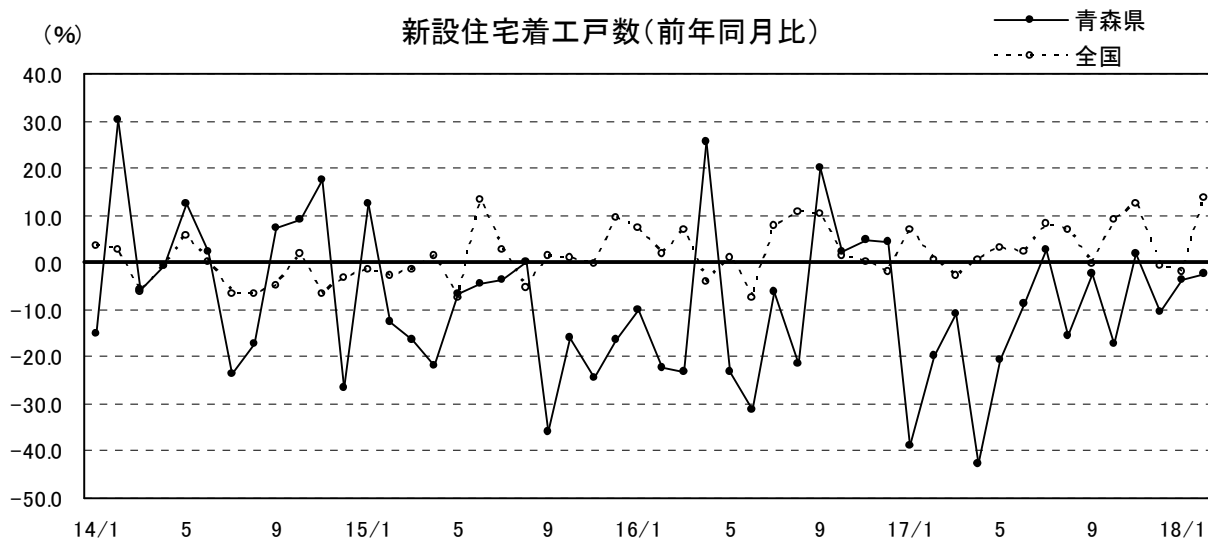
* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。



資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」、日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

(2-5) 住宅建設

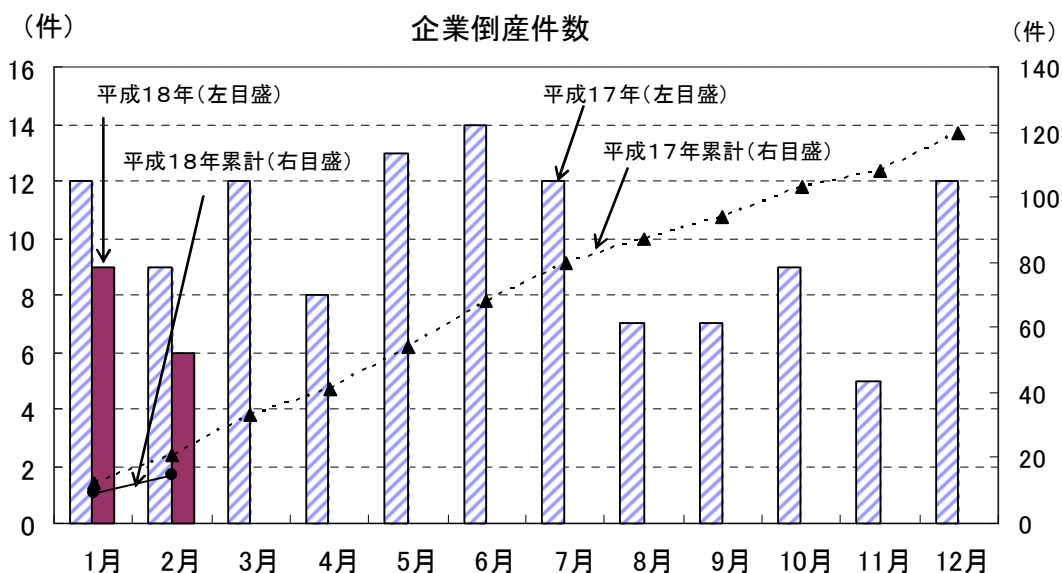
平成18年2月の新設住宅着工戸数は262戸で、前年同月比2.6%減となり、3ヶ月連続で前年を下回った。分譲がプラスだったものの、持家と貸家がマイナスだったことによる。



資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

(2-6) 企業倒産

平成18年2月の企業倒産件数は6件で、前年同月比3件(33.3%)減となり、2ヶ月連続で前年を下回った。



資料：(株)東京商工リサーチ青森支店・八戸支店（負債総額 1,000 万円以上）

(3) 青森県景気動向指数

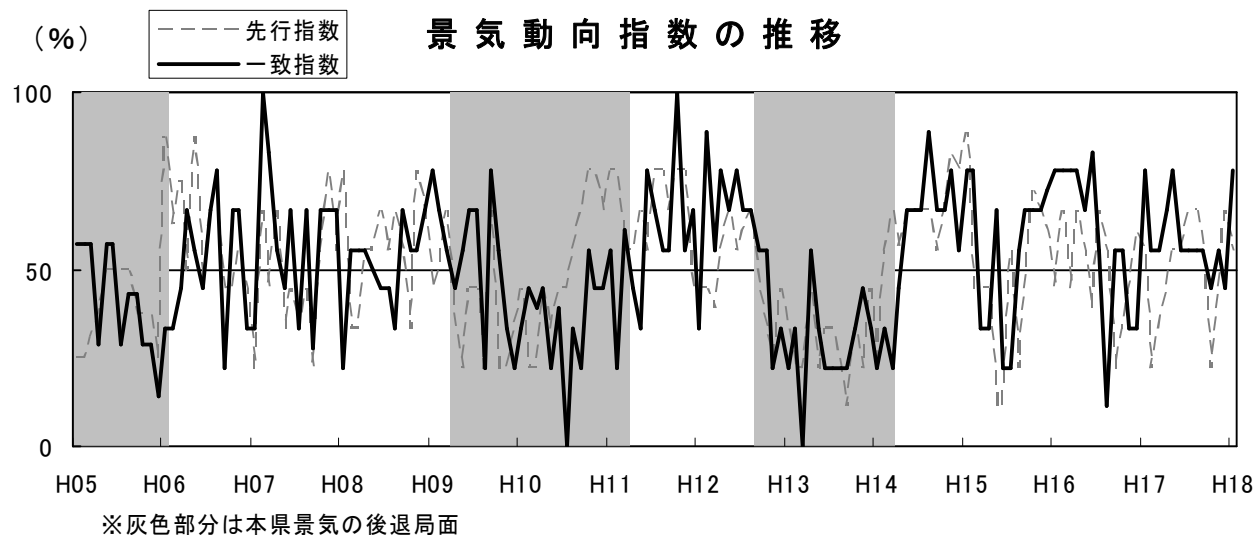
平成18年1月の青森県景気動向指数は、先行指数55.6%、一致77.8%、遅行指数83.3%となった。

先行指数は、2か月連続で50%を上回った。

一致指数は、2か月ぶりに50%を上回った。

遅行指数は、5か月ぶりに50%を上回った。

1月の一致指数は、生産および物流関連の指標等がプラスとなったことから、50%を上回った。



●個別系列の動き（各指標は季節調整等を行い、5ヶ月前と比較しています）

プラスの指標		マイナスの指標	
先行系列（9指標中5指標がプラス）			
乗用車新車登録届出台数	6か月ぶり	生産財生産指数	3か月ぶり
新規求人倍率（全数）	2か月連続	新設住宅着工床面積	2か月連続
所定外労働時間指数（全産業）	6か月連続	建築着工床面積（鉱+商+サ）	5か月連続
入職率（製造業）	2か月連続	企業倒産負債額	3か月ぶり
中小企業景況DI	2か月連続		
一致系列（9指標中7指標がプラス）			
大型小売店販売額（既存店）	3か月連続	総実労働時間数（全産業）	3か月連続
鉱工業生産指数	4か月連続	日銀券月中発行高	3か月連続
電気機械生産指数	3か月連続		
大口電力使用量	2か月ぶり		
有効求人数（全数）	29か月連続		
海上出入貨物量（八戸港）	6か月ぶり		
東北自動車道IC利用台数	4か月ぶり		
遅行系列（6指標中5指標がプラス）			
常用雇用指数（製造業）	6か月連続	勤労者世帯家計消費支出（実質）	5か月連続
1人平均月間現金給与総額	3か月ぶり		
単位労働コスト（製造業）	4か月ぶり		
輸入通関実績（八戸港）	4か月連続		
青森市消費者物価指数（帰属家賃除く）	5か月ぶり		

資料：県統計分析課「青森県景気動向指数月報」